



新たな顔ふれでスタート

今年度新たに就任した町内公民館長会長からあいさつをいただきました。



梓川地区
町内公民館長会長
北澤 善彦

さわやかな風と新緑の美しい季節となりました。

この度、町内公民館長会長という大役を仰せつかることになりました。駆け出しの一年生ではありますが、地域の皆様のお力をお借りしながら、梓川公民館・各町内公民館長・各町会長ほか関係各位と連携を密にして、与えられた任務を誠心誠意務めさせていただきます。

梓川公民館は市内公民館のなかでも傑出した活動内容を誇っています。地域の住民皆様や幾多の先輩方が築かれた、この公民館活動の伝統を守り、少しでも発展させなけ

ればと気持ちを引き締めていきます。

さて、昨年は身近な場所でも多くの災害が発生し、甚大な被害をもたらしました。今年度は七年に一度の善光寺御開帳を機に、県内各地で徐々に明るいニュースが舞い込んできています。そんな明るいニュースを梓川地区の皆様にも届けられるよう、そして地域の皆様が一体となって取り組めるような公民館事業を展開してまいります。

また、町内公民館は、皆様の情報交換の場として、また生涯学習の拠点として、地域の輪をより一層深められる場所として、充実させていきたいと思っております。

地域の皆様が明るく、安心して住める町になるよう、今年一年間、精一杯務めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

平成27年度 梓川公民館役員紹介

本年度公民館事業を担う梓川公民館委員・町内公民館役員の皆さんです。

町内公民館	館長	副館長	体育委員	文化委員	広報委員
八景山	岸田 望	輪湖 久人	小松 文博	金井 深	平林 孝江
花見	齋藤 和行	齋藤恒三郎	上條 貴子	萩原 道男	宮下 光夫
上野	小松 幸次	輪湖 和人	齋藤 和史	三宅 雄士	小松 弘幸
丸田	鱒川 良雄	岩原 儀一	輪湖 源和	田中 明	牛丸 仁
上立田	有賀 克吉	山口 高史	宮澤 彩子	鹿ノ戸崇史	嶺山 茂夫
下立田	武田 弘士	水谷 忠之	二木 和成	武田 俊彦	太田 功三
杏	㊦金井 高	倉田 正樹	深井久太郎	金井 望	米倉 健一
こまち	石井 進		飯田 進	早川 充大	小笠原 忍
角影台	○中沢 信利	三澤 和雄	○赤羽 隆	小松 和俊	小松 英雄
上角	川村 健二	森 俊彦	原口 邦彦	木島 宏	中嶋 裕一
下角	荻澤 浩	小松 晃	小林 秀俊	◎上兼 裕	倉田 知樹
小室	◎北澤 善彦	藤村 誠	二村 守	丸山 国吉	佐原 健治
北々条	村瀬 宏	海口 康洋	海口 直志	村瀬 純	二木 克之
南北条	二木 秀幸	西沢 義紀	二木 英明	川上 條司	西沢 義紀
大久保	永原 信幸	小松 浩	長瀬 光範	長崎 博	長崎 修巳
北大妻	山田 修三	上嶋 栄司	白澤 淳	中上 隆則	斉藤 俊樹
上大妻	逸見 正雄	宮本 保幸	逸見 雄二	千野 貴史	百瀬 匡浩
南大妻	斉藤 勉	丸山 文彦	◎柳沢 研	中嶋 玄治	○木村 一郎
横沢	㊦津田 豊	宮澤 清	三澤 真治	百瀬 秀俊	◎村上 秀利
氷室	萩原 治	小松 哲也	中野 仁志	○浅沢 恭	清水 俊一
岩岡	宮下 晃	牛田 隆男	吉澤 義修	中村 正志	岩岡 永吉

図書委員
小口 里香
永原 久里
西澤 典子
運営委員
◎北澤 善彦
樋口 亀三人
小松 正明
福田 香里
細野 忠良
斉藤 利恵
山田 雄次郎
二木 幸夫
板花 利美
竹内 あつ子
藤野 園子
指宿 貴博
丸山 明穂
細田 善弘
青木 厚
藤井 克彦
小松 規美子
森 鉄雄

(◎会長又は委員長 ○副会長又は副委員長 ㊦理事 敬称略)

各町会の春祭り



4/28・29大宮熱田神社祭「人形を飾った山車」

各地で恒例の春祭りが開催されました。中でも、四月二十八・二十九日に行われた大宮熱田神社祭は、北々条南北条、丸田、大久保、上立田、下立田が合同で行う地区最大の祭典で、二十八日の夜祭では、五台の山車が神社に向かいます。ところで皆さんは、この山車に人形が飾られていることをご存知でしょうか。各山車が毎年異なる人物や物語に関する人形を飾っており、今年は北条区が鎌倉時代の武将新田義貞が海に太刀を投げ、潮が引く奇跡が起こった場面「新田義貞、鎌倉を攻める」を表現し、丸田区は、平安時代の女武者巴御前



4/27・28杏・日枝社祭「浦安の舞」



4/25・26岩岡神社祭「餅投げ風景」

の戦いを表した「巴御前奮戦」を、大久保区は、歌舞伎や映画にもなった作品「一本刀土俵入り」を、上立田区は、八幡太郎とも呼ばれた源頼朝や足利尊氏の祖先にあたる「源義家」を、下立田区は、吉田松陰が海外へ渡ろうとする場面「吉田松陰、密航を企てる」を表現しました。来年からは、これらの山車に飾られた人形の意味を考えながら、ご覧になってはいかがでしょうか。



5/4・5上野・八幡宮鞠子社殿祭「獅子舞」



5/3・4小室・諏訪社祭「綺麗に飾られた山車」



5/2・3上角・八王子社祭「神社を飾る」

あずさっ子 4月22日 隊紹介式

四月二十二日、梓川小学校の体育館にて、あずさっ子みまもり隊の紹介式が行われました。

みまもり隊は子どもたちの登下校を中心に通学路や交差点などで見守り活動を行っています。隊員は現在二十二人で、当日は十一人のみまもり隊の方が小学校の児童の皆さんに紹介されました。

あずさっ子みまもり隊の小松正廣さんが代表してあいさつをし、活動を通じて気がついたことや感じたことを、子どもたちに心を込めて伝えました。

児童は最後に教頭先生の号令に続いて「よろしくお願ひします」と元気よくあいさつをして終了しました。



あずさっ子みまもり隊の隊員は随時募集しています。地域活動にご協力をいただける方は、よろしくお願ひします。

雑記帳



西山の山麓線沿いに住んでいる人は、通勤・通学時に必ずりんご畑を通り抜ける。梓川の農家の方々が努力を重ねて改良、わい化した木々が、綺麗に整列しているのが目に入る。幼時から当たり前に思っていたこの光景が実は、この地域特有なのだ。

仕事で、南信や北信に住んだことがある。かの地にもあられるりんご畑を見ると、植えられているのは昔ながらの大きな木で、わい化された木はほとんど見当たらないことに気づく。知り合ったりんご農家の方に話を聞く機会があった。南信には急峻な傾斜地が多い。一方で北信は地形的な制限に加え、降雪量が多く雪の影響で下枝が折れてしまう事情もあるという。どちらもわい化栽培には不向きとのことだった。

梓川と黒沢川によって形成された東南に緩く傾斜した地形を利用し、標高700mの冷涼で、しかも寒暖差が大きい気候に恵まれている。そして何よりも、人々の工夫と努力がある。さまざまな要因が重なって、全国有数のりんご産地が今日も守られている。